

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地	
東京医療専門学校		昭和51年9月10日	齊藤 秀樹		〒160-0008 東京都新宿区三栄町3番地 (電話)03-3341-4043	
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地	
学校法人 呉竹学園		昭和31年10月17日	理事長 坂本 歩		〒160-0008 東京都新宿区三栄町3番地 (電話)03-3341-4043	
目的	はり師、きゆう師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師及び鍼灸マッサージの教員を養成するにあたり、それぞれに必要な高度の専門知識及び技術を授け、国民の保健衛生の増進に寄与するとともに、広く社会に貢献する有為の人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門課程	鍼灸科(専科) (夜間特修コース)	3年 (夜)	2405単位時間 (115単位)	文部科学省告示第17号 平成16年2月17日告示	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1470単位時間 (77単位)	440単位時間 (22単位)	単位時間 (又は単位)	45単位時間 (1単位)	450単位時間 (15単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		56人	17人	43人	60人	
学期制度	■1学期：4月1日～7月31日 ■2学期：8月1日～11月30日 ■3学期：12月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 100点満点換算で60点以上を合格とする	
長期休み	■学年始め： ■夏季：8月10日～8月25日 ■冬季：12月25日～1月5日 ■学年末：3月25日～3月31日			卒業・進級条件	進級及び卒業の認定は、学業成績及び出欠状況等により教務会の議を経て校長が決定	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任、授業担当教員又は校長より口頭又は文書を以て嚴重警告される。			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	
主な就職先	■主な就職先、業界 治療院・病院 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合100% <small>(平成26年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報)</small>			主な資格・検定	はり師 きゆう師 国家試験受験資格	
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0.0% 平成25年 4月 1日在学者 52名 (平成26年 4月入学者を含む) 平成26年 3月31日在学者 52名 (平成27年 3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由・成績不良 ■中退防止のための取組 担任制による個別相談の早期実施					
ホームページ	URL : www.kuretake.ac.jp					

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

学校は、より実践的な職業教育の質を確保するため委員会を組織し、その意見を聴取するなど連携して教育課程の編成を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員名簿)

平成27年5月1日現在

名前	所属
岩元 健朗	東京都鍼灸師会 副会長 (岩元鍼灸接骨院 院長)
佐藤 圭子	佐藤永福治療院 院長
斉藤 隆夫	斉藤鍼灸院 院長
宮原 一浩	宮原鍼灸所 院長
植松 秀彰	牧田中医クリニック 中医鍼灸部 部長
相澤 良	日本伝統医学研修センター所長
渡邊 佳子	銀座ナチュラルタイム 総院長
篠 弘樹	東京都柔道整復師会 学術部員 (篠鍼灸整骨院 院長)
須賀 一成	須賀道場 勤務
松岡 慶樹	松岡接骨院 院長
齊藤 秀樹	東京医療専門学校 校長
村上 哲二	鍼灸マッサージ科/鍼灸科 (科長)
船水 隆広	鍼灸マッサージ科/鍼灸科 (科長補佐)
林 信治	鍼灸マッサージ科/鍼灸科 (実技担当)
杉山 直人	柔道整復科 (科長)
早川 幸秀	柔道整復科 (実技担当)
中村 真通	鍼灸マッサージ教員養成科 (科長)
八亀 真由美	鍼灸マッサージ教員養成科 (実技担当)

(開催日時)

第1回平成27年4月 2日 13:00~14:00

第2回平成27年9月12日 14:00~15:00

第3回平成28年3月 (開催予定)

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等との連携は、企業等の持つ専門性・技術・経験等を活用し、より実践的な教育効果を得るために行い、関連する業界等の社会のニーズを捉え、卒前教育として基礎的な知識を得ることを目的として行う。

また、教育課程の段階的修得に合わせて実施することにより、その教育成果を補完することを目的として行い、医療人としての人材育成を目的として行う。

科目名	科目概要	連携企業等
はり・きゅう実習3	臨床的なはり・きゅう治療法を学ぶことで、多様化した患者ニーズに対応できる、はり・きゅう施術の臨床能力の修得を目標とする。	宮原鍼灸所／岩元鍼灸院接骨院

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学校は、教職員の専門性の向上と人材育成を目的として計画的に研修を受講させるほか、教職員が自己啓発により自ら学ぶことを奨励する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の名簿)

平成27年5月1日現在

名前	所属
高田 常雄	東京都鍼灸師会 会長
辰野 正和	東京都柔道整復師会 参与
玉井 清志	保護者 (鍼灸マッサージ科・鍼灸科)
関 研二	保護者 (柔道整復科)
荻野 三恵子	卒業生 (鍼灸マッサージ科・鍼灸科)
狩野 和利	卒業生 (柔道整復科)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL : [www.kuretake.ac.jp](http://www.kuretake.ac.jp)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL : [www.kuretake.ac.jp](http://www.kuretake.ac.jp)

## 授業科目の概要

医療専門課程 鍼灸科（専科）（夜間特修コース） 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			総合基礎Ⅰ	科学的・理論的思考力を育てると同時に、人間性を高め、主体的な判断力を培い、生命倫理や人権とその尊厳について理解を深め、国際化・情報化社会に対応できる能力を養うために、東洋文化論、コミュニケーション学、生活科学、健康科学、環境学、生物学、英語、中国語など幅広く学ぶ。	1通・2通	210	14	○		
○			総合基礎Ⅱ					○		
○			総合基礎Ⅲ					○		
○			構造機能学Ⅰ	人体の構造と機能を理解するために、基本的な構造、人体の発生、組織、骨格、筋、脈管、血液、呼吸、消化、内分泌、成長と老化などを学習する。	1通	120	6	○		
○			構造機能学Ⅱ	人体の構造と機能を理解するために、神経、感覚、身体運動、排泄、栄養と代謝、体温などを学習する。	2通	120	6	○		
○			構造機能学Ⅲ	人体の構成と機能を理解するために、免疫、ホメオスタシスと生体リズム、体表解剖、局所解剖などを学習する。	3通	120	6	○		
○			疾病学Ⅰ-1	健康及び疾病の成り立ちと予防・回復について理解するために、病理学総論、診察法基礎、全身診察法、神経系診察法などを学習する。	2通	60	3	○		
○			疾病学Ⅰ-2	健康及び疾病の成り立ちと予防・回復について理解するために、局所診察法、臨床検査法などを学習する。	3通	60	3	○		
○			疾病学Ⅱ-1	健康及び疾病の成り立ちと予防・回復について理解するために、運動器、消化器、呼吸器、循環器、内分泌、腎尿路系などの疾患を学習する。	2通	60	3	○		
○			疾病学Ⅱ-2	健康及び疾病の成り立ちと予防・回復について理解するために、外科系、神経系、婦人科系などの疾患やリハビリテーション医学を学習する。	3通	120	6	○		
○			保健医療学	保健医療福祉制度の中でのあはき師の位置づけを理解するために、衛生学・公衆衛生学、職業倫理などを学習する。	1通	60	3	○		
○			東洋医学Ⅰ	あはき施術の枠組みと理論を理解するために、東洋医学の基礎理論、人体観、疾病観や経絡経穴の基礎を学習する。	1通	120	6	○		
○			東洋医学Ⅱ	あはき施術の枠組みと理論を理解するために、東洋医学の疾病観、診断法や経穴の取穴法などを学習する。	2通	60	3	○		
○			東洋医学Ⅲ	あはき施術の枠組みと理論を理解するために、東洋医学の診断法、治療法、文献や経穴に関連した解剖学的知識などを学習する。	3通	60	3	○		
○			臨床東洋医学Ⅰ-1	はき施術に必要な知識や技術、問題解決能力を養うために、あはき基礎理論や医療面接、身体診察法、神経学的検査法を学習する。	1通	20	1	○		
○			臨床東洋医学Ⅰ-2	はき施術に必要な知識や技術、問題解決能力を養うために、あはき治効理論および関連学説を学習する。	3通	20	1	○		
○			臨床東洋医学Ⅱ-1	はき施術に必要な知識や技術、問題解決能力を養うために、治療総論や主要症候に対する治療法などを学習する。	2通	80	4	○		

## 授業科目の概要

医療専門課程 鍼灸科（専科）（夜間特修コース） 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			臨床東洋医学Ⅱ-2	はき施術に必要な知識や技術、問題解決能力を養うために、主要症候に対する治療法、スポーツ傷害に対する治療法などを学習する。	3通	80	4	○		
○			社会はき学	現代社会の現状や課題の中でのあはき師の役割や、位置づけなどについて学習する。	3通	100	5	○		
○			はり・きゅう 実習1	適切なはり・きゅう施術ができる能力を修得するために、はり施術、きゅう施術の基礎を学習する。	1通	180	6			○
○			はり・きゅう 実習2	適切なはり・きゅう施術ができる能力を修得するために、はり施術、きゅう施術の基礎と応用を学習する。	2通	150	5			○
○			はり・きゅう 実習3	臨床的な治療法を学び、多様化した社会的ニーズに対応できるはり・きゅう施術ができる能力を修得する。	3通	120	4			○
○			臨床実習	患者ニーズに対応して、教員の指導の下、主に附属施術所で適切なあはき施術を行うために必要な臨床能力を修得する。	2通	45	1			○
○			東洋医学 総合講座Ⅰ-1	施術に必要な知識と技術の理解を深めるために、演習を通じて基礎医学の総合的・発展的な知識を学習する。	1通	120	6		○	
○			東洋医学 総合講座Ⅰ-2	施術に必要な知識と技術の理解を深めるために、演習を通じて基礎医学の総合的・発展的な知識を学習する。	2通	80	4		○	
○			東洋医学 総合講座Ⅰ-3	施術に必要な知識と技術の理解を深めるために、演習を通じて基礎医学の総合的・発展的な知識を学習する。	3通	80	4		○	
○			東洋医学 総合講座Ⅱ-1	施術に必要な知識と技術の理解を深めるために、演習を通じて臨床医学の総合的・発展的な知識を学習する。	1通	60	3		○	
○			東洋医学 総合講座Ⅱ-2	施術に必要な知識と技術の理解を深めるために、演習を通じて臨床医学の総合的・発展的な知識を学習する。	2通	60	3		○	
○			東洋医学 総合講座Ⅱ-3	施術に必要な知識と技術の理解を深めるために、演習を通じて臨床医学の総合的・発展的な知識を学習する。	3通	40	2		○	
合計					29科目	2405単位時間（115単位）				